

「2021 冬休みわくわく算数教室」最終日

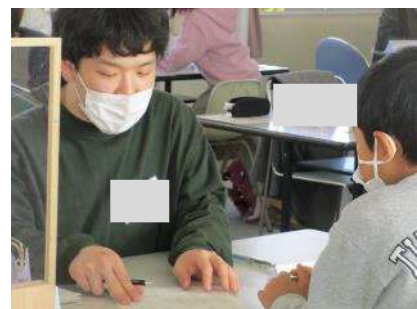
1月5日、あっという間に最終日を迎えた「わくわく算数教室」。今回も感染症対策を徹底して行って、無事に全日程を終了することができました。これもSPさんがそれぞれに感染症対策を徹底してくれたおかげです。算数教室開催中も、子どもたちに「消毒、消毒!」「熱は測ってきたかな?」などの“やくそく”をこまめに声かけしてくれていました。夏休み同様、「コロナウイルスに負けない」をモットーに、全員で取り組んだ算数教室になりました。年末年始の忙しい中、片葩小に来てくださりありがとうございました。参加したSPさんにとって、学びの多い活動になっていましたら幸いです。



←今日の司会はスピリット(実行委員会)のメンバーの茂木SPが行ってくれました。圧巻でした。間の取り方が絶妙でした。片葩小のウィークリーSPとしても、精力的に活動している茂木SP。どんどん話し方が上手くなっていきます。今まで経験したことが確実に身になっていました。

渡邊SP、最高の笑顔!! 現在大学4年生、4月からは先生として教壇に立つことが決まっています。4年生のSPさんやウィークリーSPさんには雰囲気の違いがあります。子どもとの距離感も絶妙です。笑顔も多く、優しい雰囲気ですが、けじめをしっかりつけて学習に取り組ませてくれていました。

→



SPさんの成長速度は、すごいです。この「わくわく算数教室」開催中の短期間にどんどん成長していきます。ちょっとした言葉のかけ方、伝え方で子どもたちの反応は大きく変わってきます。きっとそれを体感して、次へと活かしてくれているのでしょう。日に日に表情がよくなっていくSPさんを見ていると、「私も頑張らなければ」と身が引き締まる想いです。



←今日やる勉強も、SPさんと相談をして決めていきます。低学年の児童は数（プリントの枚数）をこなすことが多いですが、高学年になるとSPさんの方から「これ、挑戦してみない？」「〇〇くんならできるよ！」などポジティブな声かけをして、学習の質を上げてくれています。個人個人を大切に見てくれるからこそ、質の高い学習会になっていきます。



SPさんは、その時その時の“ベストな位置”で指導をしてくれます。中には90分間、ほとんど立ったままのSPさんも……。 「子どもたちのために」という熱量が本当にすごいです。その熱量は子どもたちに確実に伝わっています。最初はやる気がでなかった子どもたちも、次第に表情が柔らかくなっていくのは、それだけSPさんが目の前の子どもたちに真剣に向き合ってくれているからだと思います。



もっともっと載せたい写真がたくさんあります。子どもやSPさんの良い表情をもっともっと見てもらいたいです。

今日の最後の打ち合わせ会で、中村先生がこんなことをお話してくださいました。「“先生”は子どもを目の前にすると、どうしても注意をしたくなってしまう。指導をしたくなってしまう。『なんでそんなことをするんだ！』と注意をする前に、その子どもが“なんでそうしてしまったのか”を考えて欲しい。見て欲しい。」教室に子どもが30人いたとしても、子どもからしたらたった一人の担任の先生です。“教育の原点は常に1対1の指導である”という言葉を胸に、一人一人の子どもをよく見て、目の前にいる子どもにとってベストな声かけは何か？指導は何か？考えることのできる先生になってもらえたらと思います。



5日間の「冬休みわくわく算数教室」、SPさん、本当にありがとうございました。また来年度もぜひ参加してください。お待ちしております。